

ベナン共和国 ウアケ地方 コムデ行政区 アソデ中学校

コトヌから北への幹線道路をおよそ 200 キロ、ゴドミー、アボミ・カラヴィ、アラダ、ボイコンをすぎると、ダッサ・ズメに着きます。この地方は岩山に特徴があります。巨大な花崗岩の塊が、遠い、先史以前の巨大な山々を空想させるのです。ダッサ・ズメの大きなサークルで私達はサヴァルー方向へ曲がり、さらなる 261 キロ、サヴァルー、バンテ、バスィラを通過、ジュグーへ向かいました。バスィラまでは道路が良くて、速く着いた事を喜んでいました。けれども、ここからは道路は、ほとんどそうと呼ばれるようものではなくなりました。残りの 86 キロに 2 時間半を費したのです。ジュグーで西の、トーゴに及ぶ方向へ曲がります。35 キロ走るとウアケに着きました。朝 6 時にカラヴィを出発して、私達は 17 時に埃まみれでくたびれ果ててウアケに着いたのです。この長い距離の理由で、ここで一泊するのが適切だと思います。

翌朝、現地の案内人を連れてアソデへ向かいました。道路は 17 キロを 40 分かけて村々や藪を抜けていきます。ウアケから遠ざかるにつれて、村の状態が変わっていきました。そこには市場の他には、何も村の中心が見受けられません。家々はお互いに長い距離を持って立っています。というのは、どの家もその周辺の畑地を開墾した人のものだからです。村人たちは農業と牧畜によって生活しています。

私達は両親の代表者、校長先生、そして村の他の代表者の皆さまの出迎えを受けました。



ここには3教室と二人用のトイレがあり、これは生徒たちの親によって建てられています。建物は清潔に見えました。一教室に座って相談をします。

私達は私達の規定や基本方針を説明しました。村人たちは非常によくわかっていて、私達が訪問したことがすでに、ここの彼らも世界の一部であることの徴だと言いました。この唯一の校舎は清潔で手入れが行き届いています。しかし、これでは十分ではなく、生徒たちは上級のクラスや他の上級学校へうつっていきます。少女たちは、長い登校路の危険を避けるために、家に留まります。20・21年度には146人の生徒が入学して、そのうち60人が女生徒でした。しかし10年生からの女生徒の減少は恐ろしいほどです。生徒たちには13人の教師がいます。

年生	7年生	8年生	9年生	10年生
男子	39	15	18	14
女子	29	15	11	5
合計(人)	68	30	29	19

私達は校舎を見学しました。いま立っている校舎の横側は基礎が安定しませんが、併行して立つとすれば新校舎の良い立地となるでしょう。道路の反対側には村の医療ステーションがあり、看護師さんが一人で治療に当たっています。学校は、水の塔を持つ隣村からの水道分配システムにつながっています。





この中学校の学習条件を改善し、少女たちに中学卒業もしくは大学入学資格を与えるために私達は次の提案をします。

1. 4教室のある1校舎建設。
建設費用 42.000 ユーロ
2. 8人用小部屋付きのトイレ2軒の建設。
費用 18.000 ユーロ
3. 建設管理費 5000 ユーロ

このプロジェクトの総費用は65.000ユーロです。